

追加在庫

A5052B-H112

360 φ迄

A5056B-H112

360 φ迄

A5083B-O

360 φ迄

A2017B-T4

360 φ迄

A6061B-T6

360 φ迄

常時在庫品揃え
寸法切・定尺共

大河内金属株式会社

尼崎事業所 尼崎市鶴町7番25号
〒660 TEL(06)6411-6852 番
-0092 FAX(06)6411-6241 番
神奈川営業所 横浜市中区山下町194
外丸ビル9F
〒231 TEL(045)663-3611 番
-0023 FAX(045)663-2770 番

日刊メタルレポート

◆自動車生産台数

	12月	1月	2月
生産台数	74万7047台	70万8170台	79万5632台
前月比	-6.7%	-6.9%	+12.7%
昨年同月比	-8.4%	-4.3%	+11.7%

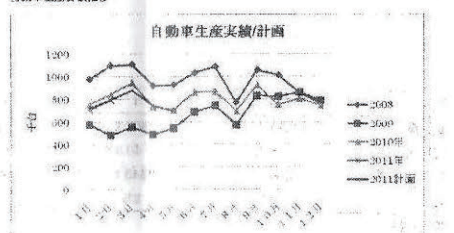
◆自動車販売台数

	1月	2月	3月
販売台数	18万7164台	26万2634台	27万9399台
前月比	+4.2%	+35%	+10.6%
昨年同月比	-4.8%	+23.7%	+50.3%

◆計画台数 (震災前の発表のため大幅変更の可能性あり)

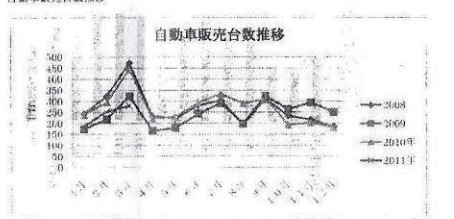
	3月	4月	5月
計画台数	88万400万台	74万1100台	69万3300台
前月比	+10.8%	-15.8%	-6.4%

自動車生産台数推移



出典 日本自動車工業会

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

【前月の経済指標】
◆日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比二・七％増の七九万五、六三二台であった。
◆日本自動車販売協会連合会によると二月の自動車販売台数(軽除く)は一〇・六％増の二七万九、三八九台。
◆三月発表の三カ月自動車生産計画(震災前の発表のため大幅変更の可能性あり)は二二・三万五千台(前年比三％減)であった。(二面へ続く)



橋本健一郎氏

橋本金属 アルミ 橋本健一郎氏リポート①

輸入はいずれも減少する

輸電銅、スクラップも増加

【概況】三月前半、エジプト政治不安がリビアそして中東情勢まで広がったことからWTI原油が一〇〇ドルを突破。さらに米ムーディー・スグーがギリシャ・スペイン債の格下げを行ったこと、そして三月十一日に起こった東日本大震災の影響による世界景気後退懸念から、LME現物相場買いで九、一

株式会社 日刊金属新聞社

発行人 小林恒甫

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7

電話 (06) 6932-5443 代表

北陸支社 富山市曙町1-30-508号内

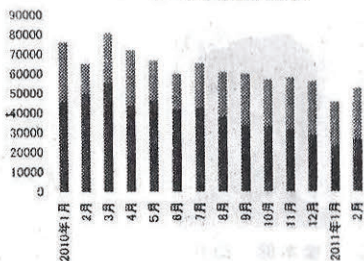
電話 (076) 444-6836

購読料 半年44,100円(前納) 3ヵ月22,050円

◆貿易関連指標

輸出	12月	1月	2月
電気銅	2万8761t	2万3405t	2万6456t
前月比	-9%	-18.6%	+13%
スクラップ	2万7362t	2万1931t	2万6281t
前月比	+3.3%	-19.8%	+19.8%
輸出推移			

10-11年銅輸出推移

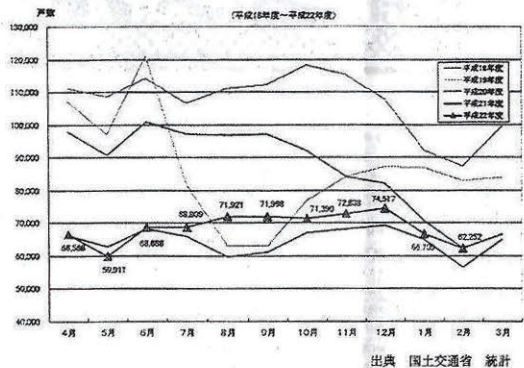
※銅スクラップ
■電気銅

◆貿易関連指標
財務省貿易統計によると、輸出は前月比で電気銅が一三・％増の二万六、四五六t、スクラップが一九・八％増の二万六、二八一t。

◆新設住宅着工戸数

	12月	1月	2月
日本新設住宅着工戸数	7万4517戸	6万6709戸	6万2252戸
前月比	+2.3%	-10.5%	-6.7%

新設住宅着工戸数推移



出典 国土交通省 統計

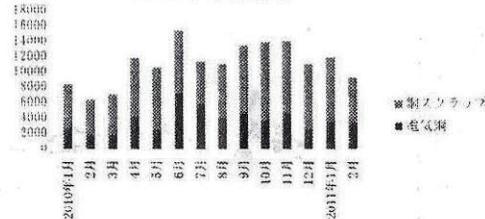
(二面より続く)
◆新設住宅着工戸数
国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比六・七％減の六万二、二五二戸であった。

銅原料メーカーの購入姿勢は千差万別

復興需要増で今後不足の可能性

輸入	12月	1月	2月
電気銅	2537t	3564t	3368t
前月比	-44.8%	+40.5%	-5.5%
スクラップ	8609t	8343t	5919t
前月比	-9%	-2%	-29.1%
輸入推移			

10-11年銅輸入推移



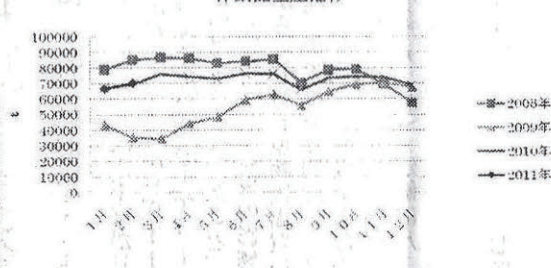
出典 財務省 貿易統計

輸入は電気銅が五・五％減の三、三六八t、スクラップが二九・一％減の五、九一九t。

【前月の国内指標】

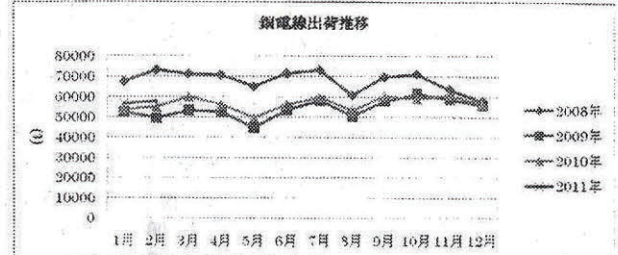
日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比五・七％増の七万〇、二〇〇t(昨年の前月比三・三％増)。

伸銅品生産推移



出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前月比二・一％増の五万七、八〇〇tであった(前年同期一・七％増)。(四面に続く)



出典 日本電線工業会

【見通し】

伸銅品生産は前月比五・七％増、昨年の前月比の三・三％増から好転。
自動車生産は前月比一二・七％増の七九万台、昨年の前月比一一・七％増からは小幅上昇。

一月の国内自動車販売は、二七万九千台(前月比二〇・六％増)と、昨年の前月比(五〇・三％増)からは震災の影響で大幅悪化。
銅電線出荷量は前月比二・一％増と昨年の前月比一・七％増から改善。

北陸ステンレス原料市況が二万円下落 三月の月初比で

関東地区の需給が不透明感強める

四月入りの北陸地区ステンレススクラップ市況は、ニッケル地金の国際市況が三月上旬に見られた騰勢感を失くしていることや、東

日本大震災後に関東地区のステンレススクラップ需給が不透明感を強めていることなどの影響を受けて一八―八新断の市中実勢で三月の月初価格に比ベトン・二万円安のトン・一四万―一五万円となっている。

三月の市況推移は大震災発生前にトン・一―二万円下げ、大震災後にトン・一万円下げとなっており、三月内の下げ合計ではトン・三万円であった。

三月末から四月入りにかけて、五月連休前後における国内ステンレススクラップ需給のひっ迫予想が強まったため、足元のステンレ

新設住宅着工数は前月比六・七％減の六万二千戸台。下げ止まりが見られるものの改善の気配はない

輸出入に関してはLMEが九、五〇〇ドルボックス圏でのトレンドの中、旧正月も明け、買いを逃していた中国バイヤーが多少の割安感から購入、国内は年度末、棚卸等の問題での購入抑制から輸入増・輸出減となった。銅需要に関しては、震災によるサブライチエーン問題での販売不透明感から銅原料購入姿勢に関してメーカーは、千差万別。

ただ今までの高値警戒感や年度末・棚卸等による購入抑制から現在、在庫が少ないのは確か。

米中経済の好調や今後の日本の復興からの需要増加で不足する事は確実視されており、現在の状況をどう判断するかでそれぞれ思惑があるようだが、通常どおりの購入をするのではない。

銅価格は銅建値ベースの銅・合金スクラップは、金融引き締め観測が出るほど回復基調にある米・中・欧経済や、鉱石不足による供給懸念など長期にわたるプラス材料はあるが、足元の震災・サブライチエーン問題などマイナス要因影響がないわけではない。上値も限られる。ただ九、〇〇〇ドルを切る水準では中国の買いが入るとの予測から、LMEに関しては下値九、〇〇〇ドル、上値一万ドル。銅・銅合金スクラップに関しては銅建値で七九―八七万円程度と予測している。

スクラップ市況では一万円の訂正高商状となった。

今後の見通しについて地区直納筋は「ニッケル地金の国際市況は、先行きトン・二万五、〇〇〇ドルを大きく割ることはないだろう。また国内ステンレススクラップ需給は、関東地区における需給の混乱状況が落ち着くことで品薄感が強まるものと見られる。ステンレススクラップ輸出業者は、放射性物質による汚染問題があるため当分の間、買い控えを続けるだろう。ステンレススクラップ市況に対する強材料が目立つものは見当たらないが、需給引き締まりによる堅調地合いを想定して仕入れ対応する」と話した。